



公益財団法人

大阪産業局

O.B.D.A.

OSAKA BUSINESS DEVELOPMENT AGENCY

ベトナム情報レポート（2023年1月31日）

（公財）大阪産業局 ベトナムビジネスサポートデスク
株式会社NCネットワーク

【ベトナムのテトボーナス】

テト（旧正月）を祝うベトナムでは、本原稿執筆時点でテトの真っ最中です。2年間、コロナによる移動の制限や、経済的な理由で田舎に帰れない人が多かったのですが、今年はその分を取り戻そうとするかのように、テトのだいぶ前から街は大賑わいでした。

さて、今でこそテトに海外旅行に行くことも珍しくなくなりましたが、大半のベトナム人は基本的に伝統を重んじていて、一年の中でもテトは最も重要なお祝い事です。家族が集まり、ご馳走を先祖の前に並べて新しい年の幸運を祈ります。家族でのお祝いが終わると、友人や先生、同僚など、さまざまな家を訪問したり、お客として迎え入れ、新年の挨拶を交わします。

毎年テトが近づくと、ベトナムの労働傷病兵社会問題省は全国各省・市の企業を調査し、その年のテトボーナスの数字を公表します。5万4千社が回答したそのデータによりますと、今年のテトボーナスの平均額は前年比11%増で、686万ドン（約3万6500円）でした。最高金額は10億ドン以上（約530万円）、最低金額は5万ドン（約270円）と、金額にはかなり差があるようです。全国で一番平均金額が高かった省・市はホーチミン市で、今年も平均1300万ドン（約6万9000円）と、前年の880万ドン（約4万7000円）から大幅に上昇しました。逆に今年後半に受注が急減した縫製・製靴産業、木材加工産業などはボーナス額を抑えざるを得ず、そういった産業が多く集まる南部のビンズオン省、ドンナイ省などでは前年に比べてボーナス額は下がっています。

テトボーナスは必ず支給しなければならないものではありませんが、会社で働く従業員は当然もらえるものと考えています。昔、法律で年間13ヶ月分の給与を支給するとされていた時期もあり、その習慣が未だに残っていることと、それだけテトが重要視されていることの表れでしょう。経営が苦しくても、何とかテトボーナスを出したいというのは、人情としても従業員確保の面からも、どの経営者も考えていることだと思います。ベトナムでは旧正月があけてから本当の新年が始まります。2023年前半は世界不況の影響を受け我慢の時期になることが予想されていますが、それでもGDP成長率は6%台での予測が出ており、今年もベトナム経済の動きは世界から注目されることになりそうです。